

2024年 7月 3日

リハビリテーション部にて外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「心疾患患者における体液貯留と骨格筋量低下が生体電気インピーダンス法で測定した体組成値の測定精度に及ぼす影響についての検討」への協力をお願い

リハビリテーション部では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2022年4月1日～2022年7月2日の間に、リハビリテーション部において、体組成測定を受けられた18歳以上の心疾患の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2031年3月31日

研究目的・利用方法：

一般的に体組成計を用いて筋肉量を測定することが可能ですが、心疾患等で浮腫みがあったり、筋肉量が過剰に低下している方においては、正しく測定することができません。この研究の目的は、このような患者さんの特性を調査することにより、体組成計で測定する筋肉量に与える要因を解明することです。

研究に用いる試料・情報の項目：

年齢、性別、体重、身長、body mass index、体表面積、疾患名、血液検査値（NT-proBNP）、心エコーデータ（IVC径、E/A、E/E'）、体組成（骨格筋指数、筋肉量、細胞内水分量、細胞外水分量、ECW/TBW）、CPX（peak VO₂, peak WR, peak R, AT）、握力、下肢筋力、歩行速度、浮腫の有無、QOL尺度（EQ-5D）、日常生活自立度
これらは全て日常診療で実施された項目です。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年7月3日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、**情報**が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部

氏名：安藤 貴洋

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：058-230-7214

氏名：安藤 貴洋

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp